

森林環境税とそれを財源とした 事業の概要

平成20年度第1回森林
環境税事業評価委員会
平成20年7月17日

1

森林の働き

- ① 水源かん養機能
- ② 土砂災害等防止機能
- ③ 地球環境保全機能
- ④ 快適環境形成機能
- ⑤ 生物多様性保全機能
- ⑥ 保健・レクリエーション機能
- ⑦ 文化機能
- ⑧ 木材等生産機能

公益的機能



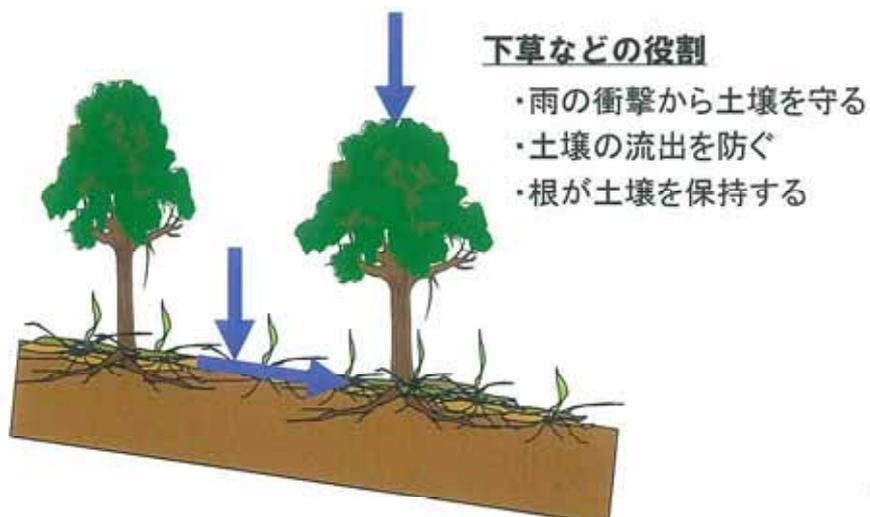
①水源かん養機能

雨を浸透させてゆっくり移動
洪水や渇水緩和・水質浄化



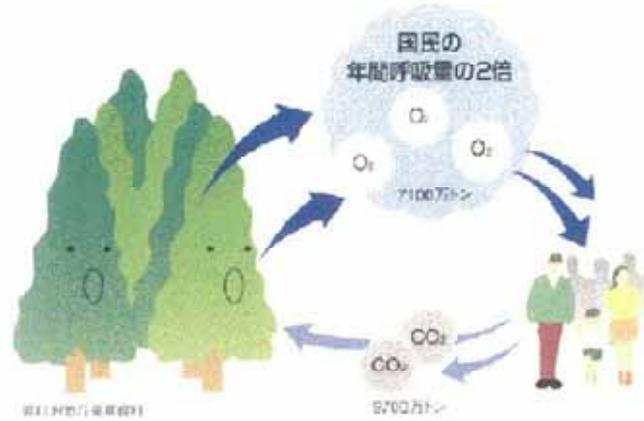
②土砂災害等防止機能

表土の流出や土砂崩壊を防ぐ



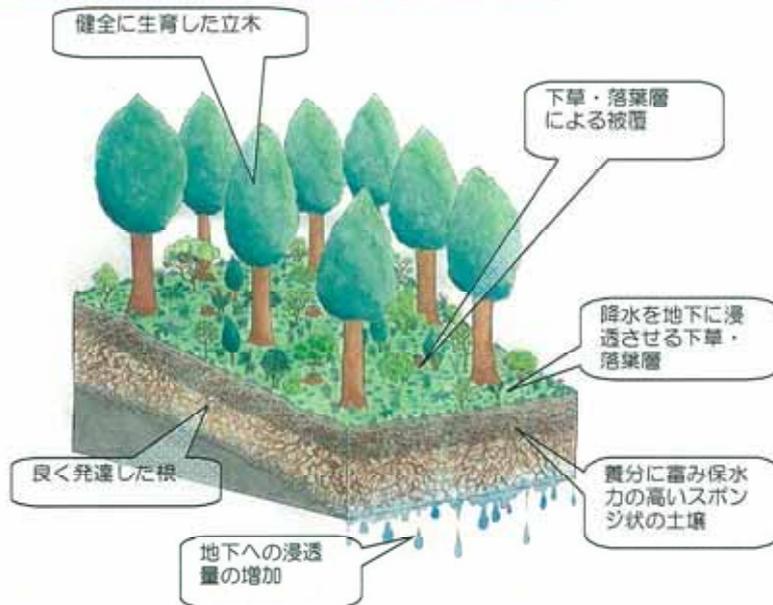
③地球環境保全機能

二酸化炭素を吸収し酸素を供給・温暖化防止



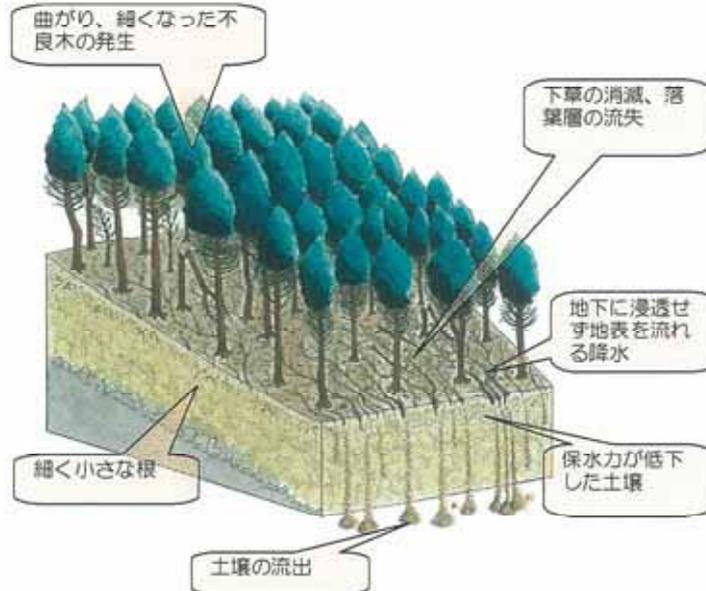
5

公益的機能が高い健全な森林とは？



6

公益的機能が低い荒廃した森林とは？



7

手入れ不足林の増加→森林の荒廃

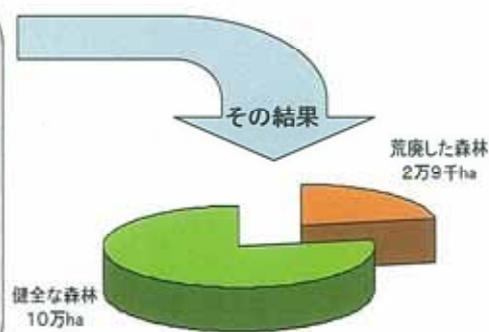
原因

① 林業の衰退

- ・木材価格の下落
- ・人件費の上昇
- ・就業者の減少、高齢化

② 侵入竹の増加

- ・たけのこ産業などの衰退による竹林の管理放棄



民有林の人工林にしめる割合

福岡県の人工林の約4分の1が荒廃

8

荒廃した森林の放置→県民生活に重大な影響

渇水・洪水



土砂災害



荒廃した森林を早急に再生する必要から

森林環境税を導入(今年4月)

9

森林環境税のしくみ

森林環境税(県民税均等割の上乗せ)

個人 年間500円

県内に住所等を有する方、約200万人が対象

法人
年間1000~40000円
(現行の5%相当額)

県内に事務所等を有する法人等、約10万社が対象

森林環境税基金

荒廃森林再生事業



県民参加の森林
づくり推進事業



年間税込 約13億円(初年度約10億円)

10

荒廃森林再生事業

○森林の整備（間伐・枝落とし・除伐・作業路の開設）



暗く下草や低木がなくなった森林



明るく下草や低木が豊かな森林

○森林の造成（広葉樹の植林・下草刈り・作業路の開設）



伐採後、植林していない森林



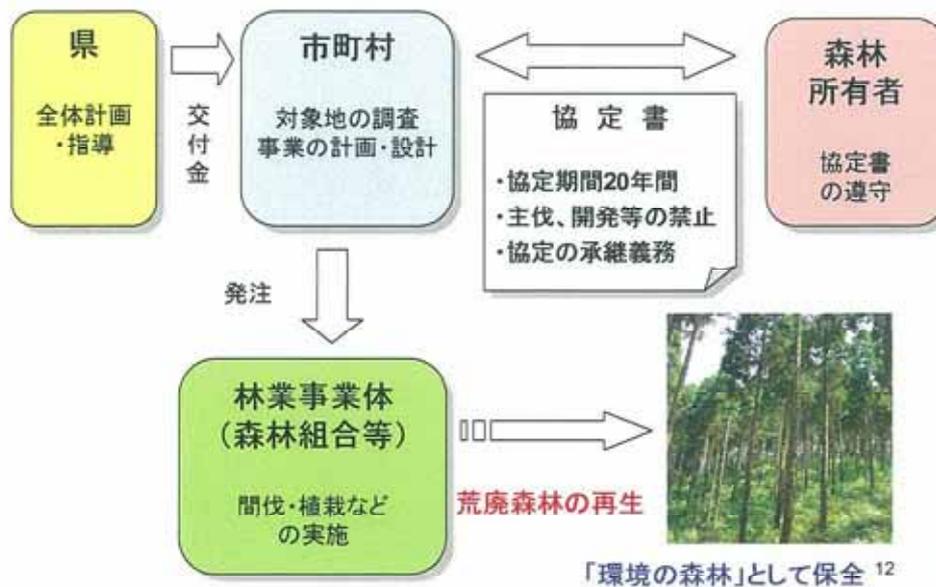
広葉樹の森林

○森林の公的取得

※再生された森林では、長期間その働きを発揮できるよう伐採等を制限

11

荒廃森林再生事業の流れ



県民参加の森林づくりの推進(1)
森林づくり活動公募事業

森林を県民全体で守り育てる気運を高めるため、森林づくりの活動を支援。



県内のNPO・ボランティア団体等

森林の整備 里山の保全 森林環境教育

県民参加の森林づくりの推進(2)

情報発信事業

県民が森林に親しめるよう、森林の大切さや森林づくりに役立つ情報を発信。
 森林環境税事業の計画や実績も公表。

県

- ・森林環境教育への講師派遣
- ・森林づくり活動安全講習会
- ・県立森林公園情報コーナーの充実
- ・各種イベントでの森林に関する普及・啓発など

県民

- ・森林を守り育てる気運の向上
- ・森林環境税事業への理解と協力

14

福岡県 森林環境税 事業評価委員会

設置目的：森林環境税による事業の内容を明らかにし、透明性を確保する

